

### 3. 由布市の地域公共交通に関する利用者ニーズ調査の概要

利用者ニーズ調査の概要は下表のとおりです。

	自治会長・民生児童委員 アンケート	生活・観光施設利用者 アンケート	バス乗り込み調査及び 聞き取り調査
調査目的	自治区単位の交通弱者の規模や外出実態などの把握	市民がよく利用する施設での利用者の施設利用状況や公共交通に対するニーズを把握	市内で運行している大分バス及び亀の井バスが運行するユーバス利用実態を把握
調査対象	自治会長・民生児童委員全員（計242人） 【内訳】 ・自治会長：150人 ・民生児童委員：92人	・イオン挟間店 ・大分大学医学部附属病院 ・湯布院病院 ・市役所庄内庁舎 ・由布院駅 ・ほのぼの温泉館みことピア ・湯布院健康温泉館クアージュゆふいん	ユーバス（大分バス及び亀の井バス運行分）の全便
調査手法	自治会長：自宅への直接配布・郵送回収 民生児童委員：会議での手渡し配布・回収	調査員が利用者に直接聞き取り	調査員が利用者に直接聞き取り
調査日	平成29年9月	平成29年10月31日（火）	平成29年10月16日（月）～20日（金）
把握内容	実際に外出できる公共交通の有無、交通弱者の実態、住民の意向	属性、外出特性、公共交通利用状況・利用意向等	属性、乗降バス停、外出特性、バスへの改善要望等
回収結果	回収174人（回収率71.9%） 【内訳】 ・自治会長：100人 ・民生児童委員：74人	回答者数：479人	回答者数：153人

	中学3年生保護者アンケート	交通不便地域住民ヒアリング
調査目的	高校進学を想定した際の、高校までの移動手段や通学時の不安などの把握	交通不便地域に住む高齢者の移動時の困りごとや公共交通の利用意向等を把握する
調査対象	市内中学3年生（240人）の保護者 （挟間中学校：133人、庄内中学校：53人、湯布院中学校：54人）	バス停から300m以上離れており、タクシーの1メートル料金で買い物・通院が困難と見込まれる地域に住む高齢者 ・挟間地域：高崎地区 ・庄内地域：高津原地区 ・湯布院地域：槐木地区、内徳野地区
調査手法	学校を通じた配布・回収	調査員が利用者に直接聞き取り
調査日	平成29年11月17日（金）～30日（木）	平成29年12月1日（金）～11日（月）
把握内容	高校に進学する場合の移動手段、通学に当たっての不安、PTA主体の新たな通学支援の意向等	移動時の困りごと、自動車運転免許証の返納意向、公共交通に対する意見等
回収結果	回収203人（回収率84.6%） 【内訳】 ・挟間中：122人 ・庄内中：38人 ・湯布院中：43人	回答者数：22人 【内訳】 ・挟間地域：12人 ・庄内地域：8人 ・湯布院地域：2人